

鹿角ゼロカーボンラジオ Nice Action! セカンド 第1回(5月1日(木)放送分)の概要

第1回目の今日は、「深掘りゼロカーボン」として「再エネ賦課金」というテーマを取り上げます。

まずは、「再エネ賦課金」という言葉を聞いたことはありますか？

私の請求書のここに再エネ賦課金って載っているのですが、よくわからないまま電気料金を払っています(笑)。

再エネ賦課金は、正式には「再生可能エネルギー発電促進賦課金」というものです。これは、基本的にどの電力会社から電気を買っていても、毎月の電気料金から、同じ単価で請求されているもので、毎月の電気の請求書にも記載されています。これが私の請求書ですが。

鹿角市にある小売電気事業者である「かつのパワー」が私に発行したこの請求書を見ると、下のほうに「再生可能エネルギー賦課金」という項目があります。この請求書で説明すると、1Kwh あたり 3.49 円の単価に対して、私は 97kWh 使っているので、全体で 3.49 かける 97 の答えである 338 円が請求されています。

私の請求書も単価は 3.49 円ですね。私の請求書では、「再エネ発電賦課金」と記載されていますね。この 3.49 円の単価ってどこから出てきて、実際なにに使われているのでしょうか。

そもそもこの再エネ賦課金とは何かというと、2012 年から始まった FIT 制度つまり固定価格買取制度と関係があります。

固定価格買取制度は、太陽光発電設備などを作った際に、その設備で作られた電気を、一般的な価格より高く電力会社がい取りするというものです。その際に生じる一般的な価格と、実際に買取りされる価格との差は、電力会社が負担するとそのまま電力会社の損となってしまうので、そうならないように、国民全体から「再生可能エネルギー賦課金」として集めて、その集めたものを、固定価格買取制度を使って、再エネ発電設備を導入した事業者や個人に支援するという仕組みですね。

ざっくりいうと、再エネを普及させるために、まずは電気を使う方全体からお金を広く集め、そのお金を、再エネ設備を作ってくれた方に発電量に応じて配っているという感じですね。

つまり、再エネ普及のために、電力会社に私たちが支払っている料金が再エネ賦課

金と呼ばれるのですね。

そうなのです。そしてこの賦課金の単価は、年度ごとに決められています。

2025年度の単価は、この3月に発表されていて、1kWhあたり3.98円となっています。これは、2024年度の3.49円に比べて約14パーセント上昇しています。例えば1000kWh使うご家庭だと、1月あたり約500円の値上がりになりますね。この影響は、基本的には5月の請求から出てきます。

上昇した主な理由としては、FIT・固定価格買取制度を使う発電所が増えたことが一つです。もう一つは、一般的な買取価格の指標となる市場価格などが前年度に比べて下がったため、賦課金から補填する額の割合が増えてしまったことです。

買取価格って、電力の買取価格のことですか？

はい。太陽光発電などで作った電気を買ってもらう価格のことですね。

実は、こうした賦課金の価格の変化は物価高の中で、消費者に大きな影響を及ぼす場合があります。例えば、2022年度の再エネ賦課金の単価は1kWhあたり3.45円だったのですが、2023年度の再エネ賦課金の単価は1kWhあたり1.40円と半分以下になりました。そして2024年度は、3.49円と2022年度のレベルに戻ってしまいます。

1回で2円以上も変わってしまうことがあるのですか？

そうなのです。それにより、毎月の電力料金の支払いも、ご家庭や会社によっては、1月あたり数千円や数万円変わります。ということで、こうした仕組みをなんとなくでも知っていただくとみなさんの役に立つかなと思って今回この話題を取り上げてみました。

この制度「再エネ賦課金」の一番大事なことってスバリなんでしょう？

それは、みなさまがどの電力会社のどのような種類の電気を使っているとしても、この再エネ賦課金の支払いを通して、知らないうちに日本のゼロカーボンの取り組みに貢献しているということです。

なるほど。再エネ設備の増加=ゼロカーボンに通じますもんね。

またこの制度により国産電源の導入が増えるので、エネルギーの安全保障という

ことにも貢献しているといえます。ただ、負担額が大きくなり生活が苦しくなると本末転倒ではあるので、この辺は過度な負担にならないようにしていくことが大切かと思っています。

ゼロカーボンという大きな目標にこだわり過ぎて、電気料金が高くなりすぎるのはちょっと違うなって思ってしまう。こうした電気料金の明細もしっかり見ていくことで、使用料の前年度比や全体の金額だけでなく、内訳もしっかり知ることができますね。よく見てよく考える、情報を取りに行くって大事ですね。

すばらしいです。そのとおりですね。

電気代は、季節によっても請求額がかなり変わるし、同じ月でも年ごとの気温などによりかなり変わります。さらに再エネ賦課金のようなお金も年ごとに变化するので、電気代の負担が時間の経過に応じて増えたのか、減ったのかについては判断するのがかなり難しいといえますね。

そうなのです。ということで、電気料金の内訳の見方など電気料金にかかるお悩み、ご質問など出てきましたら、鹿角市のゼロカーボン推進室やかづのパワー社までぜひご連絡ください。